

四万十市 田野川甲の一部(その3)

打合せ経費

名称	規格	員数	単位	単価	金額	備考
測量主任技師		1.5	回			着手・中間・最終
測量技師		1	回			着手・最終
測量技師補		0.5	回			中間
合計	(人件費)					

打合せ経費計上額 円

作業区分の変化率の算定【田野川甲(その3)】

実施面積	:	0.58 km ²	※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より
一筆平均面積	:	690 m ² (調査前)	
	:	965 m ² (調査後)	
縮尺	:	1/1000	視通条件 : 農Ⅱ
精度	:	乙1	筆の形状 : 不整形
傾斜条件	:	緩傾	計画区からの距離 : 7.0 km

変化率の算定

$$FⅡ-2工程 = \left(\frac{\gamma_{FⅡ-2}}{\gamma_{FⅡ-2}} \right) \times \text{実施面積} = 1.48 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left(\frac{1.48}{0.86} \right) \times 0.58$$

$$G工程 = \left(\frac{\gamma_G}{\gamma_G} \right) \times \text{実施面積} = 1.48 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left(\frac{1.48}{0.86} \right) \times 0.58$$

$$H1工程 = \left(\frac{\gamma_H}{\gamma_H} \right) \times \text{実施面積} = 1.16 \quad \text{表1-20}$$

$$= \left(\frac{1.16}{0.67} \right) \times 0.58$$

H工程

$$\text{複図枚数} = \frac{\text{標準枚数}}{\text{標準枚数}} \times \text{実施面積} \times 2 \quad \text{表1-8} \quad (2部作製するため※1)$$

$$= 21 \times 0.58$$

$$= 12.18 \div 13 \text{ 枚}$$

$$= 13 \times 2$$

$$= \underline{26}$$

$$\text{複図費} = \left(\frac{\text{工程基準額}}{100} \right) \times \text{複図枚数} = \left(\frac{\quad}{100} \right) \times 26 = \quad \times 2$$

H2工程(閲覧)の歩掛について

積算基準書では技師・技師補・助手の上限が20であるが、以下のとおりとする。

○技師・技師補

閲覧期間20日間の内、14日(内休日1日以上)は、技師・技師補を配置すること。

○助手

閲覧開始から7日間は助手を配置すること。

※1 H工程複図2部について

登記所保管用と税務課保管用の2部とする。

(地籍調査作業規程準則第89条第2項及び地籍調査関係通達昭和48年3月20日付け経済企画庁総合開発局国土調査課長指示 による)

※2 100円未満切り捨て